

## 政策評価トピックス 第 71 号（2006 年 9 月 15 日）

### ・宮城県：行政改革プログラム 18 年度実施計画

宮城県では、本年 3 月に策定した「宮城県行政改革プログラム」に基づき、このほど 18 年度の実施計画書を作成しました。各職場は、1)多様な主体による開かれた公共サービスの実現、2)真の政策立案集団への飛躍、3)選択・集中型の事業展開への転換について取り組むことになっています。

例えば、2)について、企画部政策課では、「政策立案官庁の実現を目指し、職員の政策立案能力の向上を図るため、政策情報誌『みやぎ政策の風』を発行します」、「職員の政策立案能力の向上や専門知識の習得を図るため、『政策課題講演会』を開催します」、「職員の政策形成能力を高めるため、有識者インタビューを実施します（新規）」を掲げ、それぞれ具体的な数値が記されています。

また、各職場では、プログラムに搭載されている取組と並行して「1 課所 1 改革運動」も進めています。

<http://www.pref.miyagi.jp/gyokei/gyokei-sys/gyokakuprogram/18zikkei/index.htm>

### ・宮城県：県民サービス向上運動

宮城県では、平成 11 年度から県民サービスの向上を推進するため、本庁、地方機関等の各課室に「県民サービス向上担当責任者」を設置していますが、このほど「平成 18 年度県民サービス向上運動『職場目標』」を取りまとめました。職場目標として、ホスピタリティの向上、行政速度の向上、情報発信度の向上が掲げられています。

例えば、産業経済部のホスピタリティの向上をみると、「県民が入りやすい執務環境づくりに努めます」（畜産課）、「県民の方へ説明する時は、専門用語を極力避け、一般的な分かりやすい言葉を用います」（むらづくり推進課）、「電話コールへのすばやい対応」（林業振興課）などがあげられています。

<http://www.pref.miyagi.jp/gyokei/gyokei-ser/service/undou/h18mokuhyou.xls>

### ・千葉県：17 年度事後評価結果

千葉県がこのほど公表しました「17 年度施策の事業評価結果」は、「アクションプラン評価」（六つの戦略と 32 の重点施策の 38 施策について評価）と「課所掌の基本施策評価」（142 基本施策）の二つからなっています。そのうち、予算の選択と集中を図るとともに、県庁内各課の政策形成能力を向上させ、県政運営の改善を図ることを目指している「課所掌の基本施策評価」の結果は、142 の基本施策のうち、「施策目的の達成に向けて順調に進んでいる」が 51 施策（36%）、「施策目的の達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある）」が 90 施策（63%）、「施策目的の達成に向けて困難な課題がある」が 1 施策（1%）となっています。

例えば、農林水産部安全農業推進課の「安全・安心な農産物の安定的供給と地域農業の活性化」は、農業産出額とちばエコ農産物栽培面積によって検証され、アクションプランとの関係、主な活動内容（当初予定と結果）、施策実施結果、次年度以降の対応が記載されています。

[http://www.pref.chiba.jp/syozoku/b\\_soukei/keikaku/seisaku/h17jigo/h17jigoindex.html](http://www.pref.chiba.jp/syozoku/b_soukei/keikaku/seisaku/h17jigo/h17jigoindex.html)

### ・静岡県：県庁のしごと改革ニュース

静岡県では、「県民のくらし満足度日本一をめざして…県庁のしごと改革ニュース」を発行しました。第 1 回の 8 月号のニュースでは、「行政改革って、なぜ必要なの?」、「どんな改革に取り組んでいるの?県民のくらし満足度日本一を目指して!」に続いて、改革事例が五つ紹介されています。また、「早

く・ムダなく・いい仕事」をスローガンとした「日本一のひとり1改革運動！」の17年度の実施件数は12,392件で、全都道府県1位を継続していると、運動成果として二つの事例が紹介されています。

<http://www.pref.shizuoka.jp/soumu/sm-17/documents/kaikakunews1.pdf>